



発行 菊水地区まちづくり
ネットワーク会議
会長 真鍋 義雄
菊水まちづくりセンター内
(菊水7条2丁目2-20)
電話811-9445 FAX811-3831

(第8号)

「菊水町内会連絡協議会」 平成22年度 定期総会開催

4月23日(金)午後5時～菊水地区会館において、「菊水町内会連絡協議会」平成22年度定期総会が開催されました。各連合町内会より、代議員64名の出席を頂き、平成21年度の事業報告、収支決算報告、次いで、平成22年度の事業計画(案)、収支予算(案)、協議会の新役員(案)について提示、一般質問で2～3の質疑応答の後、満場一致で承認を頂き、とどろりなく終了いたしました。

続いて懇親会に入り、冒頭、長年に亘り地域活動に貢献された、4名の方に対して、(宮川)白石区長より市長表彰、区長表彰、並びに区長感謝状が贈呈されました。誠におめでとう御座います。

- | | | | |
|-------|------------------|------------------|--|
| 市長表彰 | 井東 宏さん (東連合町内会) | | |
| 区長表彰 | 鷺谷 勝雄さん (西連合町内会) | | |
| 区長感謝状 | 小林 謙さん (北連合町内会) | 杉本 景子さん (西連合町内会) | |



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」定期総会開催

5月28日(金)午後3時より平成22年度の定期総会が開催されました。「菊水地区まちづくりネットワーク会議」は、設立3年目を迎えましたが、お年よりや子ども達が“安全で安心して暮らせる住み良いまちづくり”を目指し、5事業部により12の事業を展開して参りました。定期総会では、前年度活動経過報告と新年度の活動方針、新役員等の紹介などが示され、新年度についても、更なる活動を進めるべく全出席者の承認を頂きました。



今年も菊水地区の環境美化活動 町内総出でスタート

春の一斉清掃始まる

春の札幌市一斉清掃（4月11日～5月16日）期間を受けて、菊水地区の全町一斉清掃デーを4月18日に設定し、連町・単町ごとの都合に合わせて、一斉清掃作業を実施しました。

冬の期間に堆積した、不法投棄の“空き缶”や“たばこ”のポイ捨て等々、この期間の清掃は大量のごみ量になります。

ボランティア用のごみ袋と手袋は町内会支給、その他、清掃用具は各自持参。

皆さんで、ごみの種類や、捨ててある場所について、意見交換（マナーの悪さについて）の会話が弾みました。

終了後は、皆さんで記念撮影、ジュースを頂き、ご苦労様でした。次回は7月の予定です。



さーそれでは、出発しましょう



あ、仕分け中ね・・・



こちらも・・・

菊水各地で街路花壇に花植え作業実施！

花のある街並みづくり



5月に入って、それぞれの町内会やボランティアの都合に合わせて、白石区より支給された「花の苗」や「花の種」を歩道の美化活動の一環として、街路樹の「植樹ます」「植樹帯」に花壇づくりが実施されました。昨年一部沿道のバリアフリー工事により、「植樹帯」が増えたため、苗植えの作業面積が増えましたが、さすがになれたもので短時間で終了。又、今年の5月は比較的晴天に恵まれ、ご近所同士のお付き合いの場としても、協働作業の場としても、普段は町内活動に参加されない方も、地域のコミュニケーションの場としても、短い時間でしたが、有効だったと思います。

手がけた花が、美しく成長して行くこと、訪れる人々が記憶に残る、感動を与える、潤いと安らぎのある、そんな街並みに成ればと思います。



春の地域安全運動決起集会

5月17日(月)午後2時～札幌コンベンションセンターにおいて白石区の各連合町内会(自主防犯パトロール隊)、札幌白石防犯協会、少年補導委員、職域団体の皆さんが結集し、春の地域安全運動決起集会が行われました。当日は、各地区毎に青色回転灯パトロール車も出動し、代表者が白石署長に「防犯宣言」を行い、解散後はそれぞれの地域のパトロールに出発いたしました。



白石区交通安全初夏の大型街頭啓発活動

6月1日(火)午前10時～白石区南郷丘公園にて交通安全決起大会、続いて、南郷通り沿いで初夏の大型街頭啓発運動が実施されました。この大会は、白石区と白石警察署が共催で毎年行楽シーズンに備え開催されているもので、各連合町内会を始め、交通安全関係の各団体約700名程度が参加されていました。大会終了後は、交通量の多い南郷通り沿いで、行き交う車両に“安全運転”の呼び掛けを行いました。



白石区事業概要説明会・地域懇談会開催

6月10日(木)午後4時より札幌フローラにおいて、平成22年度の白石区事業概要説明会が開催されました。会では、(宮川)白石区長の挨拶に続き、市民部、税務部、土木部、保健福祉部、保健担当部、白石消防署の各部長から、平成22年度の執行事業の概要についてスライドを使い、説明がありました。これは、協働によるまちづくり活動を円滑に進めるために、地域住民との情報の共有を図るために毎年開催されているものですが、出席者は各連合町内会、白石ふるさと会、白石老人クラブ、各団体の代表者、各まちづくりセンター所長の、合計154名の参加がありました。説明会終了後は、白石区町内連合会連絡協議会(区町連)主催の地域活動懇談会に入り、(黒沢)区町連会長の挨拶続き、(中田)札幌市副市長、(中村)白石警察署長の来賓祝辞、(宮川)白石区長の祝杯の後懇談会に入り、親睦と情報交換が行われました。



菊水地区 健康づくり実践会「歩こう会」

菊水地区では、菊水町内会連絡協議会・女性部が主催し、健康増進の取り組みとして、「健康づくり実践会」を開催、「健康づくり講話」や「ボーリング大会」、「ウォーキング会」(歩こう会)、等が行われています。

6月3日(木)午前10時30分、豊平川の水穂大橋から幌平橋までの河川敷(約3.2km)でウォーキング会が開催されました。当日は、菊水町内会連絡協議会会長や、菊水まちづくりセンター所長も激励にこられ、挨拶を頂きました。以前は野幌森林公園で行われていた「歩こう会」でしたが、近くで、誰でも気軽に参加出来るようにと、豊平川河川敷に変更し、年々参加者も増えて、今年は130名になりました。又、数年前より、「菊水地区まちづくりネットワーク会議」(環境・文化部)の協力により、環境美化活動の一環として、紙くずや空き缶等のごみを拾いを兼ねてのウォーキング会となりました。終了後は各々連合町内会ごとに、持ち寄った昼食を楽しみました。



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成19年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



集中豪雨(ゲリラ豪雨) 連日、集中豪雨(ゲリラ豪雨)の発生と被害状況が報じられていましたが、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げますと同時に、一刻も早い復旧を願うばかりです。……さて、この本州方面の集中豪雨は、毎年6月~7月にかけて北海道と小笠原諸島を省く、日本各地が梅雨に入り、この梅雨前線と地表面の気温上昇(温暖化現象、ヒートアイランド現象)によって積乱雲が発生し、突然「局地的大雨」を降らすものと考えられています(実際はもっと複雑な要因が絡み合っているようですが)。一方、都市部では、市街化の進行によって、アスファルトやコンクリートが地表面を覆い、雨水の浸透能力が著しく低下しているのも問題です。下水道の排水能力は1時間に約50mm程度処理することを前提に設計されている様です。ですから、それ以上の降雨量があれば当然排水できずに溢れて、道路が水没してしまいます。道内においても台風や前線の影響で集中豪雨が発生し、土砂崩れ、河川の決壊・溢水、床上床下の浸水、地下室の冠水等の記録が多数残っていますし、決して他人ごとではないのです。この際、自宅廻りの点検、非常時の備え、避難場所の確認、地域の災害時要援護者の確認、等々を見直し、整備をしておきたいものです。 編集子